

長野県塩尻市と姉妹都市提携、10月目途に調印式

JR 東海と覚書締結、平成26年度中に新袋井駅舎の供用開始予定

8月4日開催、市議会全員協議会報告

今回の議題は4件でした。主な概要を報告します。

(1) 塩尻市との姉妹都市提携について

袋井市と檜川村はともにが東海道・中山道のまんなかの宿場あることから交流が始まり、友好都市提携を結びました。その檜川村が、塩尻市に合併してからは友好都市として交流を深めてきました。今回両市において機運が盛り上がってきたことから改めて姉妹都市提携を結ぶこととなりました。調印式は10月頃を予定しています。

姉妹都市提携の条件 (次の3点すべてが満たすこと)

- ① 両首長による提携書があること。
- ② 交流分野が特定のものに限られていないこと
- ③ 議会の承認をうけていること

(2) 袋井市保健・医療・介護構想(素案)について

この構想は今後充実すべき保健・医療・介護サービスを示すとともに、その早期実現に向け、現袋井市民病院施設の利活用をはじめ、地域連携や民間活用を含めて取り組むものです。現在庁内検討委員会と有識者懇話会が組織され検討が進められており、今年12月の策定となります。

構想では次の7つのセンター機能が示されています。

- ① 保健指導センター
地域に密着した保健活動の推進
- ② 健康支援センター
様々な健康不安に応える総合的な相談支援の推進
- ③ 健診センター
受診しやすく健康指導につながる健診体制の構築
- ④ 家庭医療センター
患者に寄り添った全人的な医療とケアの推進
- ⑤ 回復期リハビリ病棟・療養病床と地域連携センター
専門的なリハビリテーションの実施
在宅で症状が悪化した患者の療養と機能訓練の実施
在宅療養・在宅リハビリの支援
- ⑥ 在宅療養支援ステーション
往診、訪問看護、訪問リハビリの実施

⑦ 休日夜間急患センター

休日や夜間の一次救急医療の実施

(3) 袋井駅南北自由通路新設及び橋上駅舎化事業に関する覚書の変更について

平成19年に覚書を締結していますが、その後、国から出された要綱に沿って再協議を実施。覚書を変更し締結されました。主な変更点は自由通路を都市計画決定・道路認定をおこなうこと、新たな費用負担ルールによりJRが負担を行うことなどです。自由通路幅員を6mにするなどの見直しにより、建設費の総額は30億2100万円とわずかに縮減、JRの負担は1100万円から5000万円となりました。

(4) 袋井市総合計画後期基本計画(素案)について

平成18年に10年の計画である現在の総合計画が策定されました。本年度が前期計画5年の最終年度であり、今後5年間の後期計画を定めるものです。計画に掲載された主要事業を紹介します。

- (仮称) 総合健康センター整備事業
- 総合体育館整備構想策定事業
- 消防救急広域化・消防力強化事業
- 海浜公園構想策定事業
- 市営墓地公園整備事業
- (仮称) 上山梨第三土地区画整理事業
- (仮称) 袋井駅前第二土地区画整理事業
- 袋井駅南北自由通路新設・橋上駅舎化事業
- 新学校給食センター整備事業
- 中央図書館構想策定事業
- 国本にぎわいまちづくり事業
- 小笠山山麓開発構想策定事業

高橋よしひろの議会活動通信

2010年8月19日号

袋井市大谷245 TEL・FAX(48)6100

E-mail:wbs35910@mail.wbs.ne.jp

http://www.yoshihiro-takahashi.net

ブログ「美博の東奔西走」更新中!